

1

シンポジウム開催 4月22日(日) 14:00 ~ @ 萌え木ホール

玉川上水と生物多様性 (仮題)

～玉川上水の現在と未来の青写真にむけて～

主催：小金井玉川上水の自然を守る会 後援：玉川上水ネット

2

玉川上水「花マップ」って何？

～皆でコツコツ歩いた記録～ 主催：ちむくい

2018年1月8日(月・祝) 14時～16時 小平市中央公民館2階 講演：高槻成紀(元麻布大学教授) / 関野吉晴(武蔵野美術大学教授、探検家、医師) 参加費300円 こだまの会員も植物の記録調査に参加しています。シンポジウム参加者は『花マップ2017・夏(A5版24ページ)』がもらえます。ちむくい <https://t-ramsar.jimdo.com>

3

来春に玉川上水の自然観察会を開催します。

詳細は次号でお知らせします。

植 物 観 察 (2)

今年も玉川上水の植物たちは美しい紅葉を見せてくれました。ケヤキの黄、モミジやナツツタの赤、ヤマザクラのオレンジ。木々が様々に色づいて、青く晴れ渡る秋空とのコントラストを生んでいました。

カラフルなのは葉だけではありません。ノブドウは青や水色や白色の実、マユミはピンク色の殻から弾け出る赤色の実、クサギはメタリックブルーの実をつけています。色とりどりの実は、冬の準備を始めようとする鳥たちを呼びます。

かつては人間が使う上水路として作られた玉川上水ですが、その役目を終えた今、たくさんの生き物たちの通り道(グリーンベルト)となりました。四季折々の彩りを見せる木々、足元に咲く草花、訪れる鳥や虫たち。この風景を未来の子どもたちに残してあげたいですね。 < O.Y. >



2017年12月20日 No.2

発行：小金井玉川上水の自然を守る会 代表：加藤嘉六
E-mail: kodama2107kodama@yahoo.co.jp

玉川上水も生物多様性が大切！

私たちは、桜だけではなく自然の樹木も共存できるような玉川上水のあり方を求め活動しています。先日11月23日に開催された第31回こがねいパレット(男女共同参画推進事業)に会として展示参加しました。探検家・医師の関野吉晴さんの講演では「アマゾンの生物多様性の話から、玉川上水も生物多様性がとても重要です」と話されました。このお話に私たちは大変勇気づけられました。



タヌキが歩いているのを見かけました。何を食べてるのでしょうか？

カワセミが橋の下をビューンと超特急で飛んで行きます！

ヘビもトカゲもコオロギもアリンコもミミズもくらしています

落ち葉のお布団の下でカブトムシの赤ちゃんが眠っています

シラサギがジッと上水の中の魚をねらっています

コイだけじゃない。オイカワ、クチボソ、ウナギまでいるようです。いったいどこから？